## 爱知9土地及良

第176号 平成25年1月1日







http://www.aichi-doren.or.jp

# 新年を迎えて



## 愛知県土地改良事業団体連合会会 長神谷 金衛

年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素は、本会の運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝いたします。

昨年は、ロンドンオリンピックでの日本選手の多数のメダル獲得や、iPS細胞の山中教授のノーベル医学生理学賞の受賞に歓喜し、北朝鮮のミサイル発射や、アメリカの小学校銃乱射に驚愕するという大きく喜び大きく憂う年でありました。そんな中、年の瀬迫る12月16日には、第46回衆議院議員総選挙が行われ、事業推進に大きく関係する政権交代が生じたところであります。

私どもは、食料生産の体質強化を図る農業生産 基盤の整備とともに、大規模地震やゲリラ豪雨等 に備えた防災・減災のための農業用施設の耐震 化、更新整備が喫緊の課題としております。また、 農村の多面的機能の維持はもとより、再生可能エ ネルギーの一つである農業用水を利用した小水 力発電など新たな取組みも積極的に進めていか なければなりません。

このため、新たな政権において農業農村整備事業予算の復活、拡大を実現され、一層農業農村整

備事業が推進されるよう積極的に働きかけを 行って参ります。

24年度から II 期対策として始まりました農地・水保全管理支払交付金では、共同活動317、向上活動97の活動組織に事務的・技術的支援を、市町・土地改良区等61団体が利活用する水土里情報システムでは、新たな「人・農地プラン」の作成を含め、農地情報図を活用した技術的支援を積極的に取組んで参ります。

また、昨年4月に全国組織「全国農業用水小水力発電推進協議会(事務局:全国水土里ネット)」を、8月に「産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会(事務局:愛知県農地計画課)」を、又その技術的支援を受ける形で「愛知県農業用水小水力発電推進協議会(事務局:水土里ネット愛知)」を設立し、再生可能エネルギーの利用促進に取組む体制づくりをしたところであります。

今後も鋭意、会員の皆様方のご意見を反映しつつ、役職員が一体となって、業務運営に一層の努力をして参りたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、農業農村整備事業の限りなき発展と皆様の益々の御繁栄を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



# 新春を迎えて



#### 愛知県知事

#### 大村 秀章

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方におかれましては、希望に満ちた 新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、長期化する円高、中国等をめぐる対外環境の変調、東日本大震災からの復興、エネルギー政策の転換など、国内外の様々な課題が山積する中、愛知が、日本のど真ん中から国を支え、引っ張っていくとの決意のもと全力で県政運営に当たってまいりました。

今年は、さらに、明るい希望が持てる、活力と豊かさに満ちた愛知づくりに邁進してまいりたいと思っております。

このため、世界と闘える愛知の実現に向け、昨年4月創設の産業空洞化対策減税基金を活用した企業立地や研究開発に対する支援、基幹産業である自動車産業の競争力強化、航空宇宙産業を始めとする次世代産業の育成・振興、そして、すそ野を支える中小企業の振興など、日本一の産業力に一層の磨きをかける取組を積極的に推進してまいります。

また、観光や農林水産業についても、愛知の強み・特色を生かした更なる活性化を図るとともに、道路等の社会基盤整備や東三河県庁を核とした地域振興などにも拍車をかけ、愛知の総合力をさらに高めてまいります。

さらに、南海トラフ巨大地震を想定した地震防災対策の強化、交通事故死者数全国ワースト1位の返上に向けた交通安全対策、少子高齢社会に対応した医療・福祉の充実など、県民の皆様の安心・安全なくらしの確保にも力を注ぐほか、次代を担う子どもたちの教育、ものづくりを支える人材の育成など、元気な愛知の基盤となる「人づくり」に

もしっかり取り組みます。

特に、農林水産業の活性化を図るため、農業においては、多様な担い手を育成・確保し、優良農地の集積を図るとともに、農地・農業水利施設などの生産基盤の整備、品質や生産性を高める新技術の開発に加え、6次産業化の推進、海外を含めた販路開拓に積極的に取り組み、意欲ある人が伸びる農業の実現を目指してまいります。

とりわけ、農業農村整備事業につきましては、 農業産出額全国6位という本県の農業にとりまして、安定した農業用水の確保、農業生産性の向上に不可欠であるばかりではなく、台風や頻発するゲリラ豪雨、東海・東南海・南海の大規模地震などの自然災害から、県民のいのちや財産を守る重要な事業であります。さらに、地域資源を活用する再生可能エネルギーの一つである、農業用水を利用した小水力発電についても、農業用水路の密度が全国一という本県の特性から、地域の期待が高まっておりますので、こうした地域社会のニーズにも適確に対応してまいります。

さて、今年は、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」が開催されます。また、翌年には、「持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会」の開催も控えています。しっかりと準備を進め、地域の活力を生み出す原動力としてまいります。

引き続き、厳しい財政状況が続きますが、徹底した行財政改革を進めながら、愛知の更なる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。





#### 

あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、神谷会長を中心に、県政の発展に多大なご支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別なご尽力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、原発事故などの影響によりエネ ルギー問題に対する国民の関心が高まる中、7月 に固定価格買取制度がスタートし、太陽光発電や 小水力発電などの地域資源を活用した再生可能 エネルギーへの取組が全国的に展開され、「再生 可能エネルギー元年 | と呼ばれた年でありまし た。本県は、古くから大規模な農業用水が開発さ れ、農地面積に占める農業用水の水路密度が全国 第1位であるほど、小水力発電に対するポテン シャルが非常に高い地域であることから、これま でも農業用水を利用した小水力発電の導入促進 に積極的に取り組んできております。とりわけ昨 年は、貴連合会が運営する「愛知県農業用水小水 力発電推進協議会」と、その設立に合わせて、産学 官の専門家などで構成する「産学官連携・愛知県 農業用水小水力発電推進検討委員会」を設置する ことにより、農業用水を利用した小水力発電を総 合的に推進していく体制を構築することができ ました。本年はこれらの協議会等におきまして しっかりと検討を進めて、小水力発電の早期実現 に向け具体化地区の充実に努めてまいります。

また、東日本大震災以降、県民の防災・減災に対する意識が非常に高まっており、南海トラフの大

規模地震の発生に備えた施設の耐震対策は喫緊の課題であります。そうした中、昨年4月には、国営農地防災事業の矢作川総合第二期地区の全体実施設計が採択され、長年の懸案であった明治用水頭首工、明治幹線用水路といった西三河地域の基幹的農業水利施設の大規模地震対策が動き出すことになりました。大規模地震対策や近年頻発に発生するゲリラ豪雨等から県土を守る対策は、県民の「いのち」・「財産」を守るために不可欠であることから、県といたしましても、農業用排水機場、ため池、海岸堤防などの農地防災施設の耐震化、更新を早期かつ着実に進めてまいります。

農業農村整備事業を取り巻く情勢は依然とし て厳しい状況にありますが、本県が全国第6位と いう全国有数の農業産出額を誇っておりますの も、その背景には農地や農業用施設を適切に保 全・管理している関係者の不断の努力があり、先 人たちの知恵や財産を次世代へ引き継いでいく ためにも、今後ともこの事業を積極的に展開して いかなければなりません。貴連合会におかれまし ては、今後とも本県の農業農村整備の推進に一層 のご尽力をいただくとともに、これまで培われた 知識や技術力を駆使して、多面的機能を持つ農 地、農業用水などの保全管理や小水力発電等の新 たな取組へのご支援賜りますよう、お願い申し上 げます。最後になりましたが、貴連合会のますま すのご発展と会員各位のご健勝ご多幸をお祈り 申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていた だきます。

## ── 県功労者表彰 ──

平成24年度県功労者表彰の栄えある受賞者に、土地改良関係者か ら本会会員である山内隆一額田土地改良区理事長が選ばれた。

このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健で ご活躍されますようお祈りいたします。

> 山内 隆一氏 額田土地改良区理事長



## 平成25年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

11月6日、神谷金衛会長、青木章雄専務理事に より、平成25年度農業農村整備事業に関する11 項目の重点要請を三浦孝司自由民主党愛知県議 員団土地改良議員連盟会長始め、役員を務める県 議会議員に対し実施し、引き続き、議員連盟役員

の方々の立会を得て、大村 秀章愛知県知事始め県執 行部に実施した。その後、 東海農政局長始め幹部に、 10項目の重点要請を行っ t-.

要請書並びに11項目の 内容は次のとおりです。



要請を行う神谷会長

要請をうける三浦自民党 土地改良議連会長

#### 【要請書】

愛知県の農業農村整備事業の推進につきまし ては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚 くお礼申し上げます。

農業農村整備事業予算は平成22年度の大幅削 減以降、21年度と比較すれば大きく落ち込んだ ままの極めて厳しい状況が続いており、地域は疲 弊しております。

平成25年度概算要求では、「日本再生戦略」に おける農林漁業、グリーンといった重点分野を踏 まえた増額要望をしていただいておりますが、ま 6ページへ続く





だまだ地域ニーズに応える充分な予算ではありません。

このままでは、国営事業、県営・団体営事業を問わず、継続地区は完了が大幅に遅延し、新規地区の採択は厳しく抑制されるものと大変危惧しています。

愛知県は、農業産出額第6位という全国でも有数の農業県でありますが、一方で、我が国最大規模の海抜ゼロメートル地帯を有する特殊な事情も抱えております。

このため、食料生産の体質強化を図る農業生産基盤の整備とともに、東海・東南海・南海等の発生が危惧される大規模地震や近年多発するゲリラ豪雨等に備えた防災・減災のための農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。

また、農村の多面的機能の維持はもとより、再生可能エネルギーの一つである農業用水を利用した小水力 発電など新たな取組みも積極的に進めていかなければなりません。

今回、こうした課題や地域の声を届けるべく、農地防災対策を始めとする重点要請を行いたいと思います。

経済情勢の低迷により、財政状況は依然として厳しい状態が続いておりますが、県・国と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく必要がありますので、格別のご高配をお願いいたします。

#### 【重点要請11項目】

- 1 農業農村整備事業予算の拡大について
- 2 農業用施設の更新整備、耐震対策の促進について
  - ①ゼロメートル地帯を守る農業用排水機場
  - ②決壊による甚大な被害が想定される農業用ため池
- 3 農業の体質強化を図る生産基盤整備の促進について
- 4 農業用水を利用した小水力発電の促進について
- 5 農地・水保全管理支払交付金の恒久化等について
- 6 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について
- 7 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の早期着工について
- 8 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 9 国営尾張西部地区で造成された排水機場の適切な機能保全について
- 10 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 11 単県事業(土地改良)の拡充及び予算確保について(自民党土地改良議連、愛知県への項目)



森東海農政局長に要請書を手交

#### 農業用排水機県営移管期成同盟会による要望活動

11月6日、農業用排水機県営移管期成同盟会 (会長 服部金藏)においても自由民主党愛知県 議員団土地改良議員連盟役員、大村秀章愛知県知 事始め県執行部に対し、排水機維持管理事業費補 助金の予算確保に関する要望を行った。



大村知事への要望説明

#### 【要望書】

#### 排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県管理を要望してきました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されましたが、このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、我々が公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助していただくものと理解しております。

しかしながら、近年においては県の厳しい財政状況を理由に補助金が縮減され、今後も更に続いていくと、排水機を管理している我々の組織の運営に大きな影響を与え、ひいては地域の防災対策の弱体化を招き、地域住民の生命と財産を守ることも極めて困難になると懸念しております。

昨今の局地的豪雨の増加や燃料費の高騰などから、排水機の維持管理費用は増加傾向にあり、また、東日本大震災を契機に農業用排水機の役割が再認識され、大きな社会的責任が求められている状況の中、経費の節減も限界にきており、事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

## 第35回 全国土地改良大会 沖縄大会 開催

沖縄の本土復帰40年の記念事業として位置付けられた、第35回全国土地改良大会沖縄大会が、11月21日、沖縄県那覇市の奥武山総合運動場武道館アリーナ棟において、水土里ネット沖縄、全国水土里ネットの主催及び農林水産省、沖縄県の後援により、大会テーマ「水土里豊かな守禮の邦 美らさん真心 おーきな和」の下、全国の土地改良関係者約2.500名が参集し、盛大に開催された。



大会は、琉球舞踊「四ツ竹」、「琉球空手」、民族芸能「エイサー」の歓迎アトラクションによるオープニングの後、仲間 克水土里ネット沖縄副会長による開会宣言にはじまり、日本オペラ協会の合唱団員として地元で活躍している田里直樹氏による国歌斉唱、その後、古謝景春水土里ネット沖縄会長が「県内の地下ダムや軍用地返還後の再整備を紹介できるのは喜ばしい。参加者で太い絆をつくり、農村再生に取り組んでいこう。」と開催県挨拶、引き続き、野中広務全国水土里ネット会長が「農



野中全国水土里ネット会長による主催者挨拶

業と農村は国の大本。食と農業、農村を守らないといけない。節目の年を迎えた沖縄で課せられた使命の重大性に決意を新たにしている。」と主催者挨拶、続いて歓迎の言葉を仲井眞弘多沖縄県知事が、郡司 彰農林水産大臣の来賓祝辞を林田直樹農村振興局次長が代読し、大会に参加された来賓の方々が紹介された。

8ページへ続く

続いて、土地改良事業功労者表彰に移り、 農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16 名、全国土地改良事業団体連合会長表彰46 名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。 本県からは、全国土地改良事業団体連合会長 表彰に本会監事の森下吉直田原市土地改良 区理事長が表彰の栄に浴された。

基調講演では、林田農村振興局次長が、「新たな土地改良長期計画の概要と、7つの政策目標と今後の展開方向について」を行い、引き続き、東日本大震災被災地域からの報告がなされ東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県の水土里ネットの農地再生の取り組み等が報告され、大会宣言へ移った。大会宣言を務めた県農業青年クラブ連絡協議会の仲宗根正人さんと新崎 薫さんは「地域農業の再生に向け、農村の水、土、里を守り、引



参加された役員の皆様



国営かんがい排水事業・仲原地下ダム視察

き継いでいくことを沖縄から全国に向けて宣言する。」と力を込めた。大会旗は次回開催 の北海道に引き継がれた。

最後に、吹田 幌全国水土里ネット副会長の閉会の挨拶により大会は盛会裏に幕を閉じた。

22日から23日には、視察研修会が、5コースに分かれ実施された。本会は、宮古島コースに参加し、国営かんがい排水事業・仲原地下ダム、特定地域振興生産基盤整備事業・西原地区などを視察した。

全土連会長表彰の 森下水土里ネット 田原市理事長

#### 農地・水・環境のつどい 開催

12月15日、安城市文化センター、マツバホールにおいて、「農地・水・環境のつどい」を主催愛知県、共催水土里ネット愛知で開催した。つどいは第1部の優良活動表彰会と第2部のトークショーとの二部構成となっており、第1部の優良活動表彰会では、大村秀章知事(溝田農林基盤担当局長代読)の主催者挨拶の後、活動の一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範とな9ページへ続く



大村知事(溝田農林基盤担当局長代読)による主催者挨拶

る優れた活動に取り組む活動組織に、県知 事賞、県土連会長賞の賞状が授与され、受 賞組織の紹介が行われた。この後、東海農 政局長(伊藤東海農政局次長代読)、小林 功県議会議長による来賓祝辞、続いて澤田 丸四郎農地·水·環境保全知多地域協議会 長、小久保三夫東三河農地・水・環境保全地 域協議会長より地域協議会会長祝辞が行 われ第1部を終了した。

第2部ではタレントでマジシャンの小泉 エリ氏による "地域のつながりと「ごは ん!"をテーマとしたトークショーを行い、 最後に、神谷金衛水土里ネット愛知会長の 閉会の挨拶で農地・水・環境のつどい全て のプロラムを終了した。

受賞組織は、次のとおりです。

#### 愛知県知事賞

#### 基礎的活動部門

福地・花と水土里の会(西尾市)

#### 農地·水向上活動部門

配津みどり保全会(豊田市)

#### 農村環境向上活動部門

茶屋新田地域資源保全隊(名古屋市)



受賞された活動組織の皆様

#### 愛知県土地改良事業団体連合会長賞

#### 基礎的活動部門

中一色美土里ネットワーク(津島市) 板山環境保全チーム(阿久比町)

#### 農地・水向上活動部門

音羽長沢地域環境保全隊(豊川市) 日下部環境保全会(稲沢市)

#### 農村環境向上活動部門

小川環境保全向上委員会(安城市) 上平井地域環境保全隊(新城市)

## 産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会

11月15日、愛知県土地改良会館において産学 官連携·愛知県農業用水小水力発電推進検討委員 会が開催された。2回目の開催となった本委員会 では、「小水力発電具体化推進チーム」の設置や愛 知県が具体的な検討を進めている「羽布ダム地 区 |の概要について紹介された。

また、小水力発電導入に必要な各種手続きにつ いて、電気事業法及び系統連係等に係る手続きな ど具体例を交えた議論が交わされた。

本会からは、鈴木計画部長が「小水力発電推進 に係る関係省庁・団体の意見交換会 | についての 説明を行った。

なお、この意見交換会は11月20日に開催さ

れ、土地改良団体からは全国農業用水小水力発電 推進協議会が出席し、電気事業法、河川協議等の 見直し、簡素化、緩和等の弾力的な運用等、農業用 水を活用した小水力発電の促進に向けての意見 を述べた。



第2回小水力発電推進検討委員会

## 研修会

#### ■ 水土里ネット事業視察研修会 開催

10月15日~16日にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、 15日には、長野県松本市、塩尻市において、『県営畑地帯総合土地改良 事業岩垂原地区』を、16日には長野県松本市『長野県地域発元気つく り支援金事業 波田水車』及び長野県松本市『国営かんがい排水事業 中信平小水力発電所』の事業視察研修会を開催した。

研修会には、51名が参加し、1日目は塩尻市の岩垂原地区ポンプ機場において、丸山長野県松本地方事務所農地整備課長補佐、大和長野県中信平右岸土地改良区事務局次長より事業概要及び施設の維持管理体制などについて説明を受けた。

2日目は波田土地改良区が維持管理する波田堰を利用して発電する 波田水車の概要を、松本市役所波田支所の百瀬住民福祉課長補佐より、また現在建設中の中信平小水力発電所では江上関東農政局中信平 二期農業水利事業所長より詳細な事業説明を受けた。

参加された方々は、それぞれの立場から熱心に視察され、地域での 農業農村整備事業の推進の参考にしていただいた。

今回、参加された会員のアンケート結果でも、「大変有意義な研修会であった。」と、ほとんどの方よりの意見をもらい大変充実した研修会となった。



岩垂原地区概要説明



波田水車



中信平小水力発電所概要説明

適正化事業加入団体現地研修会を12月5日、三重県多気郡多気町の五桂池(適正化事業)、三重県鈴鹿市御園町徳田頭首工(適正化事業)において開催した。この研修会は土地改良施設の適切な維持管理と適正化事業の円滑な推進を図ることを目的に毎年実施しているもので、参加者は、市町村・水土里ネット職員54名。

排水機管理担当者現地視察研修会を12月13日、岐阜県海津市高



万桂池

須輪中土地改良区中央管理センター、岐阜県大垣市大谷川洗堰、岐阜県海津市国営高須輪中排水機場に



おいて、開催した。この研修会は、管理担当者の管理技術の向上及び管理意識の高揚を図るために開催したもので、参加者は、市町村·水土里ネット等の職員や運転管理者58名。

水土里ネット高須輪中

#### 農業用排水機具営移管期成同盟会視察研修会

10月4日~5日にかけて、滋賀県東近江市の琵琶湖干拓大中の湖土地改良区が管理する大中の湖地区新田 排水機場(基幹水利施設管理事業)、排水機のポンプメーカーである㈱鶴見製作所京都工場(京都府八幡市)、

排水機の動力メーカーであるダイハツディーゼル㈱守山第一工場 (滋賀県守山市)の視察研修会を開催した。

研修会には、同盟会役員・会員等63名が参加し、研修1日目は㈱ 鶴見製作所京都工場の工場施設見学を行い、翌日は、大中の湖地区 新田排水機場を視察し、琵琶湖干拓大中の湖土地改良区の小島事務 局長より、土地改良区の概要、排水機場の維持管理、運転状況等につ いて説明を受けた。また、午後からはダイハツディーゼル(株)守山

第一工場の工場施設見学 を行い有意義な研修会と なった。



ダイハツディーゼル(株)守山第一工場



鶴見製作所京都工場



大中の湖地区新田排水機場

#### 水土総合強化推進事業情報

#### Ⅱ 平成24年度 技術力向上事業技術実践研修会 Ⅱ

平成24年度技術力向上事業技術実践研修会を 愛知県土地改良会館において10月24日から25 日に、また、現地研修を10月30日に宮田用水導 水路において開催した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図 るため、市町村職員及び水土里ネットの役職員の 技術力向上を図るべく、水土総合強化推進事業の 一環として実施するもので、昨年度より新たに創 設された事業で、研修には、県内各地から農業農 村整備事業に携わる市町村・水土里ネットなどの 役職員58名が受講。研修会開講にあたり、青木章 雄水土里ネット愛知専務理事が挨拶を述べ、続い て来賓として臨席いただいた近藤文男愛知県農 林基盤担当局農地整備課長より挨拶を頂き、研修



青木専務理事による開講挨拶

に入った。講師は、東海農政局、中部経済産業局、 愛知県から、下記カリキュラムにあるように当該 事業を直接担当されている方々をお招きし、それ ぞれの内容で具体的に指導いただき有意義な研 修となった。

12ページへ続く

#### ※カリキュラム

月日	研修科目	講師(敬称略)				
10月24日	農業農村整備を取り巻く最新の動向と施策	市海典45尺数供加到1333	持	.1.		<b>4</b> П
10月24日	農業農村整備事業制度関係	東海農政局整備部設計課   農業土木専門官 		Щ	昌	智
	愛知県における小水力発電	愛知県農林水産部農林基盤担当局 農地計画課主査	下	平	達	也
	再生可能エネルギー関連施策	中部経済産業局資源エネルギー環境部 エネルギー対策課長	畄	本	正	弘
10月25日	小水力発電の全国事例	東海農政民土地改良は海東教所、保会は海門民	+==		πh	弘
	水路の機能診断及び応急処置	東海農政局土地改良技術事務所   保全技術課長 	堺		政	54
	施工にかかわる会計検査の度動向	東海農政局整備部設計課 工事検査官	藤	井	敬	_
		東海農政局土地改良技術事務所				
	水路の機能診断及び応急処置		堺		政	弘
	「宮田導水路 江南市宮田町地内		菊	池	正	巳
	①転倒ゲート·スライドゲートの板厚	専門技術指導官(施設管理)	<del>Ψ</del>	松	孝	之
現地研修	測定・塗膜厚測定・運転音について	施設機械係長	根	本	義	紀
10月31日		専門技術指導官(保全技術)	鈴	木	和	成
	②コンクリート強度・鉄筋探査・中性	保全技術第2係長	高	木		始
	化試験(ドリル法・はつり法)・ひび	保全技術指導第1係長	谷	井	貴	志
	割れ調査について	保全技術第3係	森	本	真	司
		東海農政局新濃尾農地防災事業所				







測定器の取扱説明



コンクリート強度・鉄筋探査等の実習

#### Ⅱ 換地関係異議紛争処理対策検討会 Ⅱ

全国水土里ネット主催による同検討会が、11月8 日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催 され、農林水産省、東海農政局、岐阜県、三重県、愛知 県、水土里ネットぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネッ ト愛知、全国水土里ネットから28名が出席した。



換地関係異議紛争処理対策検討会

#### (協議事項)

- ・換地を取り巻く状況について
- ・換地関係異議紛争事例検討 相続予定者名で換地計画を決定したが、その後に変更が生じた事例---水土里ネットぎふ
- ・基調報告 換地に関連した土地及び権利の問題点と処理の合理化 ── 全国水土里ネット

#### Ⅱ 農業基盤整備資金の金利のご案内 Ⅱ

平成24年12月19日現在の日本政策金融公庫の農 業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

金利は金融情勢により変動します。

最新の金利は名古屋支店農林水産業農業食品第二 課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

	利率一覧 (平成24年12月19日現在)			)	
区分	借入期間に	融資期間別(一例)			
	かかわらず	5年	10年	15年	20年
県営補助残	1.25%	_	_	_	_
団体営補助残	1.10%	_	_	_	
非 補 助	1.10%				
災害復旧	_	0.35%	0.55%	0.95%	1.10%





#### 土地改良区が使用するA重油と軽油について

石油石炭税は、国内で採取される「原油」、「ガス 状炭化水素」、「石炭」、保税地域から引き取られる 「原油」、「石油製品」、「ガス状炭化水素」、「石炭」に 対して課税されておりますが、平成24年度の税 制改正により、租税特別措置法等の一部が改正さ れ、「地球温暖化対策のための石油石炭税の税率 の特例 が設けられ、平成24年10月1日から適用

されております。

概略については、既に愛知の土地改良第175号 農政情報において「農業に使用する農業用A重油 及び軽油の免税・還付措置 | としてお知らせいた しましたが、詳細について全国水十里ネットより 情報提供がありましたので改めて掲載いたしま

#### --- 税目と税率 ---

土地改良区が使用する揚水機、バックホー、草刈り機などの土地改良施設の維持管理のために使用する農 林漁業用A重油と軽油は次の税が免除されます。

区 分	税目	税率	適用期限
農林漁業用A重油	石油石炭税(国税)	2.04円/ポ	平成26年3月
長你庶未用召里四	石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税(国税)	0.25円/ギボ	平成26年3月
軽油	軽油引取税(都道府県)	32.1円/キホ	平成27年3月
	石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税(国税)	0.25円/ホス	平成26年3月

#### - 免除の対象 ---

軽油 A重油

#### 石油石炭税の免税及び還付

#### ○対象

・農林漁業の用に供するもの(租税特別措置法第90条の4、第90条の6)

#### ○対象業種

- · 穀作農業 · 圃場作物農業 · 果樹· 樹園農業
- ·施設園芸農業 ·畜産農業 ·養蚕農業
- ・これらの業種に必要な灌漑排水施設の管理の事業

(「租税特別措置法(間接諸税関係の取扱いについて」の一 部改正について(法令解釈诵達)

第3節 第90条の6《特定の重油を農林漁業の用に供し た場合の石油石炭税の還付》関係)

#### 軽油引取税の免税

#### ○対象

・農地の造成又は改良を主たる業務とする者 (地方税法附則第12条の2の7第1項第4号 地方税法施行令附則第10条の2の2第4項)

#### ○対象用途

- ・耕うん整地用機械 ・栽培管理用機械
- · 収穫調整用機械 · 植物繊維用機械
- ·畜産用機械

(地方税法施行令附則第10条の2の2第5項)

#### 石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税の還付

○対象及び対象業種 A重油における石油石炭税の還付対象に準ずる

(租税特別措置法第90条の3の4、「租税特別措置法(間接諸税関係の取扱いについて」の一部改正について(法令解釈通達) 第2節 租特法第90条の3の4《特定の石油製品を特定の運送又は農林漁業の用に供した場合の石油石炭税の還付》関係)

#### 免除の対象機械の例

A重油	軽油		
<b>対象機械</b> ·揚水機 ·自家発電機	<b>対象機械</b> ・動力耕うん機 ・プラウ ・ブルドーザ ・砕土機 ・トラクター(モアによる草刈り等) ・八口一鎮圧機 ・揚水機 ・油圧ショベル(バックホー)		
	対象とならない機械 移動用の機械は対象になりません。 ・自動車 ただし、農耕の作業を行う場合のけん引車は免税対象です。		



#### -- 石油石炭税の免税・還付 --

#### ■ 農林漁業用A重油の免税及び還付制度

農林漁業に使用する重油は、国内の農林漁業の振興のために、2.04円/ヒスの石油石炭税(国税)が免除されています。

#### ・輸入重油

国内の用途を農林漁業に限定して輸入される重油は、昭和54年に創設された石油税が免除されています。 ※平成15年10月から石炭にも課税され、現在は名称が「石油石炭税」に変更されています。

#### • 国産重油

原油で輸入されて国内で精製される国産重油は石油税が課税されており、輸入重油とのアンバランスを解消するため、平成元年に国産重油の石油税還付制度が創設されました。

現在の石油石炭税の還付は、税を負担した製造者(元売り会社)に還付され、販売価格に反映されています。

#### -- 地球温暖化対策税の還付 ---

#### ■ 石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税の還付制度

地球規模の重要かつ喫緊の課題である地球温暖化対策を進めるため、特定の分野や産業に過重な負担とならないよう、平成24年10月から全ての化石燃料に対し薄く広く課税されることとなり、現行の石油石炭税に、CO2排出量に応じた税率が上乗せされます。

上乗せされる税率は急激な負担増とならないよう段階的に引き上げられ、平成28年4月からは0.76円/ポが上乗せされることとなります。

農林漁業用A重油及び免税軽油には、国内の農林漁業の振興のために、石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税が課税されません。

#### -- 軽油引取税の免税 --

#### ■ 軽油を購入(引取)する際に課税される軽油引取税の免税制度

昭和12年に揮発油税(国税)が創設され、ガソリンに税金が課されていましたが、軽油には課されていなかったため、昭和31年に地方税として軽油引取税が創設され、揮発油税とともに道路整備のための特定財源に充てる目的税として課されてきました。

道路を走らない農業用機械は軽油引取税の免税措置がとられましたが、昭和29年からの道路特定財源は、平成21年に廃止され、現在は一般財源となったため、恒久的な免税措置ではなく、平成26年度までの時限措置とされています。

軽油引取税は購入(引取)する際に課税され、最終的に消費者が負担し、販売業者から都道府県に納税されます。税率は32.1円/パで、免税措置がとられている農業機械に使用する場合にはかかりません。

#### ― 価格の構成 ―



■石油石炭税に上乗せされる地球温暖化対策税は、段階的に税率が引き上げられます。

時期	H24.10~	H26.4~	H28.4~
税率	0.25円/ポル	0.50円/ぱ	0.76円/ポ

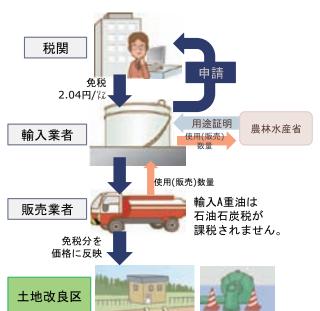
■指標となるガソリン価格が、連続3ヶ月の平均が160円/トルで超え、揮発油税の本則税率を上回る部分の課税措置が停止される場合には、軽油引取税についても本則税率15円/トルのみの課税となります。





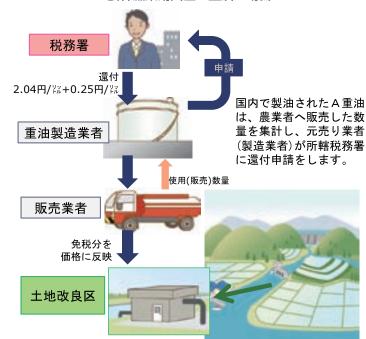
#### 石油石炭税の免税制度 —

#### 農林漁業用輸入A重油の場合

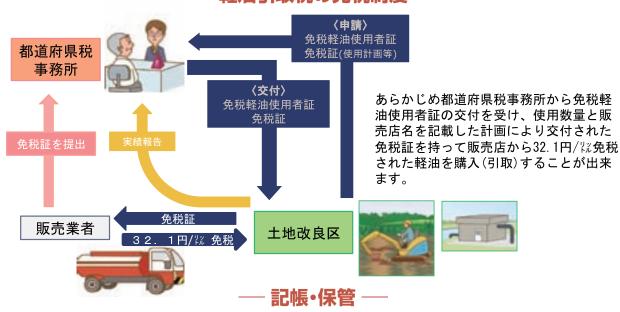


#### 価格の構成 ―

#### 農林漁業用国産A重油の場合



#### 軽油引取税の免税制度 -



#### A重油 軽 油

#### 輸入重油は輸入者が農林水産大臣の用途証明を受け税 関の承認を得て無税となります

○用途証明を受けるために必要な購入証明書を販売業 者を通じて農林水産省に提出するため、購入時の伝 票等を保管

#### 国産重油は指定業者が販売数を集計し元売り業者が還 付申請をします

○指定された業者の販売数量を全農等で集計するた め、確認が取れるよう購入時の伝票等を保管

#### 都道府県税事務所へ

#### 実績報告書を提出します

○毎月末に前月分の使用実績を都道府県税事務所に報告 ○月平均の使用料が1,000%以下の場合は都道府県の条 例により、まとめて報告することが出来る場合がある

## 免税軽油の実績報告書の写しの保管で地球温暖化対策税の記帳に代えられます

○都道府県税事務所に提出する免税軽油の実績報告書の写しを保管

お問い合わせは ▶ 農林水産省農村振興局整備部 土地改良企画課 団体指導·利用調整班 電話03-3502-606(直通)

#### ◎平成24年度水土里ネット役職員研修会開催

田 時 平成25年1月22日(火)10時30分~ 場 所 愛知県土地改良会館 7階大会議室

- 1 土地改良区の業務運営と理事の役割
- 2 土地改良区検査制度について
- 3 土地改良区複式簿記について
- 4 わが国農業・農政のあり方を考える(仮題)
- 講師:東海農政局農村計画部土地改良管理課長 講師:全国水土里ネット中央換地センター所長 浦山 正四
- 講師:名古屋大学大学院生命農学研究科教授 生源寺眞一

講師:東海農政局農村計画部土地改良管理課長 杉原 一朗

※参加申込等の詳細については、12月20日付で通知しました内容をご確認ください。

## 第11回あいちの農業・農村フォトコンテスト

#### ~大賞·優秀賞·入選作品決定~

本会主催、愛知県後援の「第11回あいちの農業・農 村フォトコンテスト の審査会を12月12日、愛知県 土地改良会館7階大会議で開催した。県内各地から、今 回のテーマ「水土里が育むあいちの農業・農村」を表現 した作品329点(156人)の応募があった。審査は、審 査会規程第2条により実施され、9名の審査員による 厳正な審査の結果、水土里のフォト大賞1点、優秀賞2 点、豊かな農地あいち特別賞 ] 点、農地・水・保全管理活 動特別賞3点、入選10点の計17点が選考された。

なお、入賞・入選作品の展示を下記により実施しま すのでお立ち寄りください。



杉原 一朗

#### ★水土里のフォト大賞「乾季散水」

(撮影者:近藤 寿香氏)作品は、表紙に掲載してあります。





#### 【展示場所および期間】

[13-13-13-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-				CALL CARREST AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE
	展示場所	展示期間(予定)	展示場所	展 示 期 間 (予定)
県庁本庁舎・ 平成25年1月28日(月)PM-		平成25年1月28日(月)PM~	東三河県民生活プラザ	平成25年2月25日(月)AM~
西庁舎の地下連絡通路 平成25年2月 8		平成25年2月 8 日(金)AM	(東三河総合庁舎 1 階)	平成25年3月 8 日(金)AM
西三河県民生活プラザ		平成25年2月12日(火)AM~	海部県民生活プラザ	平成25年3月11日(月)AM~
(西三河総合庁舎1階)		平成25年2月22日(金)AM	(海部総合庁舎1階)	平成25年3月22日(金)AM

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2012

#### ~入賞・入選作品決定 本県応募作品が全国水土里ネット会長賞受賞~

「ふるさとの田んぼと水 |子ども絵画展2012 に、全国から8.745点の応募があり、本県から は、1,439点(うち団体応募6団体で1,232点) の応募があった。

この絵画展は、子どもたちに田んぼや農村に関 心をもってもらい、田んぼ、水路やため池による 水の循環や環境保全への理解をうながし、大人た ちへのメッセージとして子どもたちのまなざし を届けることを目的として平成12年度から全国 水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催し ている。厳正な審査の結果、入賞作品23点、入選 作品92点、団体賞作品38点が決定した。本県か らは、入賞(全国水土里ネット会長賞) 1 点と入選 12点、及び団体賞15点が選考された。

なお、団体賞15点は、水土里ネット南陽、水土 里ネット愛知用水、水土里ネット明治用水、水土 里ネット油ケ渕悪水、水土里ネット豊田、水土里 ネット豊川総合用水が団体応募に参画され、茶屋 新田地域資源保全隊賞]点、水土里ネット愛知用 水理事長賞 1点、水土里ネット明治用水理事長賞 他3賞計4点、水土里ネット油ケ渕悪水理事長賞 3点、水土里ネット豊田理事長賞他2賞計3点、水 十里ネット豊川総合用水理事長當他2當計3点を 選考していただいた。



「田んぼと生き物」 東山 侑真 知立市立来迎寺小5年





「保育園の畑で収穫した小玉スイカ」 まつだ こうた 名古屋市立南陽第一保育園 5歳



「おじいちゃんのおいもばたけ」 千尋 安城市立桜林小 2年





「ぼくの夏休み」 敬太 豊橋市立津田小 2年



「おこめづくりはむずかしい」 颯太 半田市立有脇小 2年



「山のイノシシ」 豊田市立山ノ手小 3年



「田んぼはきれい」 豊橋市立多米小 3年



「榎前のせせらぎ水路と水車」 岡田 俊介 安城市立丈山小 5年



「雨の神様おりてきて」 浅田 朱璃 安城市立丈山小 5年



「生き物と田んぼ」 梅村 晴奈 安城市立丈山小 5年



「田んぼアート」 松﨑 百香 名古屋市立南陽小 6年

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できますので平成25年度に向けてご検討いただければ幸いです。 詳細は、総務部企画広報課まで問い合わせください。











平成25年 元日

本年もよろしくお

願

神 衛 谷 氽 会 長 徳 浜 田 副会長 専務理事 青 木 章 雄 理 事 長 瀬 保 市 野 清 " 谷 夫 \_\_\_ 官 彦 恒 Ш 11 治 美 中 野 澤 田 丸四郎 澤 田 廣  $\equiv$ 文 山 雄 口 Ш + 万一郎 榊 原 康 正  $\equiv$ 孝 浦 司 久 野 英 知 小久保  $\equiv$ 夫 横 山 光 明 実 白 木 夫 代表監事 早 Ш 健  $\equiv$ 監 事 森 下 吉 直

明治用水土地改良区理事長 海部土地改良区理事長 験 者 経 北 名 古 屋 市 長 西福田土地改良区理事長 宮 市 長 宮田用水土地改良区理事長 向島土地改良区理事長 経 験 者 愛知用水土地改良区理事長 幸田土地改良区理事長 矢作川南部土地改良区理事長 尾 市 西 長 豊田土地改良区理事長 みよし土地改良区理事長 豊川総合用水土地改良区理事長 設 楽 町 長 鍋田土地改良区理事長 油ヶ渕悪水土地改良区理事長 田原市土地改良区理事長



樋 口 利 局 長 早 Ш 清 事務局次長(兼) 総務部長 鈴 木 長 敏 長 藤 部 近 萩 野 芳 総務部次長(兼)企画広報課長 長 坂 横 井 弘 坪 内 正 課 長 野 査 課 長 天 寿美雄 早 水土里センター室長 Ш 英

彦 春 生 博 樹 紀 忠 典 樹 誠

和 宣 施設管理課長 石 Ш 平 測 量 課 長 野 和 美 美 服 部 辰 名古屋支会事務長 宮支会事務長 倫 長谷川 昇 海部支会事務長 加 賀 岡 田 半田支会事務長 久 泰 竹 男 岡崎支会事務長 下 和 幡豆支会事務長 小笠原 和 彦 豊田支会事務長 水 野 浩 和 豊橋支会事務長 和 秋 田

外職員一同

